

PlaX 成形カップがサッポロ生ビール黒ラベルのビールカップに初採用され、音楽フェスに導入。
～高い透明性を維持した、世界最薄レベルの PLA バイオプラカップ～

Bioworks 株式会社が開発した改質ポリ乳酸 PlaX（プラックス）が、サッポロ生ビール黒ラベルのバイオプラカップ素材として初めて採用され、2022年8月12、13日に開催された RISING SUN ROCK FESTIVAL 2022 in EZO で限定導入されました。

協和株式会社（本社：大阪府高槻市下田部町 1-1-5、代表取締役：野澤重晴、以下、協和）は、独自の改質技術によって、植物由来かつ生分解性のポリ乳酸（PLA）を改良した PlaX を使用し、従来のバイオプラでは実現できなかった射出成形による高い透明性を維持した世界最薄レベル（※1）のビアカップの製品化に成功しました。

PlaX 製サッポロ生ビール黒ラベルバイオプラカップは、本イベント後に回収し、生ゴミなどと一緒に生分解処理を行い、畑で有効利用される土壌改良材として堆肥化させ、資源循環を実現させます。今後開催予定の音楽フェスでも本バイオプラカップの導入を目指し、資源循環に取り組みます。

サッポログループは環境問題の解決に貢献する取り組みの推進に努めており、このたび、PlaX 素材バイオプラカップの高い品質、物性と環境性能を評価いただき、採用にいたしました。



※1 ポリ乳酸を使った射出成型のプラカップでは世界最薄レベル（自社調べ）

■ PlaX バイオプラカップの特長

従来、高い透明性を維持したまま成形することが難しいとされていたポリ乳酸の射出成形を PlaX の使用により実現し、世界最薄レベルのハードカップの製品化が可能となりました。

- 特長1 ほぼ100%植物性かつ生分解可能なプラカップ
- 特長2 石油原料由来のプラスチックと同等の透明度
- 特長3 PLA射出成型ハードカップとしては世界最薄レベルの0.6mm（当社調べ）
- 特長4 ポリスチレン（PS）製のカップより柔らかく割れにくい

■ PlaX とは

PlaX は生分解性の特徴をもつバイオベース素材「ポリ乳酸(PLA)」を独自の技術で改良した素材です。原料のポリ乳酸は、サトウキビやトウモロコシを原料にした石油等を使わない植物由来の素材で、燃やしても大気中のCO₂を増やさず、使用後には一定の環境で水と二酸化炭素に分解することができる生分解の性質を有しています。Bioworks は、独自開発した添加剤をポリ乳酸に加えることで、弱点を改良した「PlaX」の開発に成功。PlaX は樹脂成形品や、紡糸した繊維製品として活用され、一定の物性担保を可能としながらも、ポリ乳酸の持つ機能性、環境性を備えた植物由来の新素材です。

■ 企業情報

【協和株式会社】

協和は、SDGs 達成に向けた取り組みを拡大・加速するために、当社ができること、また当社のようなプラスチックを扱う会社だからこそ、行わなければならない使命があると考えます。その中でも特に当社が長年蓄積してきたプラスチック製品の製造の経験や技術を生かすことを考え、モノづくりが困難とされていた「地球にやさしいプラスチック」を使用したモノづくり、及び、ゴミ処理を意識したシステムの構築に挑戦しています。

<https://www.kyowajpn.co.jp/index.html>

この件に関するお問い合わせ先

協和株式会社

大阪府高槻市下田部町 1-1-5

TEL : 072-674-1151

Contact: <https://www.kyowajpn.co.jp/contact/>